

テーマ 「出来ることを、出来るときに、出来るひとが」やるPTA活動

発表団体名 千葉県立市川南高等学校PTA

発表者 PTA会長 小柴尚美

1 学校概要

- (1) 課程 全日制 普通科
- (2) 創立 昭和56年(1981年)4月13日
- (3) 学級数 1~3学年 各8クラス、
合計24クラス
- (4) 生徒数 1学年320名、2学年318名、
3学年312名
- (5) 職員数 69名



2 本校の特徴

- (1) 校訓
己に克つ
- (2) 教育目標
調和のとれた心豊かな人間の育成
～思いやりのある心身ともに健全な
青年を目指す～
- (3) 本校の特徴

今年度で創立40周年を迎え、行事や部活動が盛んな学校です。文化祭では、3年生の全クラスが体育館で演劇を発表するのが恒例になっています。

進路については、就職10.6%、進学83.1%(専門学校・四大等)などと多様です。令和元年度より千葉県立学校初の「保育基礎コース」が設置されたこともあり、保育士を目指して入学する生徒も増えています。近隣の幼保小中学校や特別支援学校、地域の自治会や施設等との交流を進め、地域に愛される学校を目指しています。学校HPでは、公式マスコットキャラクターである「イチニャン」が日々の学校の様子などをつぶやいています。

3 PTA組織

- (1) 常任委員
PTA会長 1名、PTA副会長 3名、
書記 2名、会計 2名、会計監査 2名、
広報委員長 1名、研修委員長 1名、
指導委員長 1名
- (2) クラス理事
1学年 24名、2学年 18名、
3学年 23名
- (3) PTA活動の概要

○理事選出の流れと活動の様子

入学許可候補者説明会でクラス理事についてのアンケートを集計し、その結果を参考に、入学時に現理事が各教室に赴いてクラス理事を選出します。1年の理事は、年度初めの理事会で各委員会に分かれ、副会長などの常任委員も選出します。

事前アンケートでは『理事を引き受けることが』1「可能」・2「誰もいなければやってもよい」・3「不可」のどれかを選ぶ形になっています。昨年度は、94%の方が「不可」でした。理由としては、1「仕事(フルタイム、パートの掛け持ち)」:58%、2「下の子でPTAの役員をやっている」:16%、3「介護」:9%、などでした。そうした中、年間6回(土曜日)の理事会を開き、行事の企画運営を行っています。そして、文化祭などの行事では、委員会の垣根を越えて全員が協力して活動しています。

各委員会の活動紹介

・研修委員会

研修委員会は年に一度の PTA 研修バス旅行の企画、運営を中心に活動をしています。また文化祭は広報委員会、指導委員会の各委員会と仕事分担をし、一丸となって市川南高校限定のお菓子や飲み物などの販売を行います。販売における品物の仕入れ、値段設定、折衝なども行っています。

毎年バス研修では方面や企画に工夫を凝らし、3年間参加して実りのある研修バス旅行となるように研修委員長を中心に企画をしています。



2019年度は小田原方面に向かい、小田原城の天守閣見学、かまぼこの里にて各自見学等行いました。小田原城の最上部分である天守閣の展望デッキからは海が一望でき、反対側には箱根の山々がそびえ、ロケーションは最高でした。また忍者体験のできる施設も今年度新しくできたということで、忍者の身のこなしや研ぎ澄まされた戦闘技術など忍者のすごさを体験してきました。

2018年度は JAXA の宇宙センター、牛久シャッターのワイナリー見学、キリンのビール工場見学に行きました。JAXA の宇宙センターの展示館・スペースドームには「こだま」等の人工衛星の説明、国際宇宙ステーション「きぼう」の実物大モデルなどがあり日本の宇宙研究の技術に触れることができました。屋外には長さ 50 メートルを超える本物のロケットを間近に見ることができるロケット広場、企画展や宇宙食などの宇宙グッズの買い物を楽しめるプラネットキューブといった施設も併設されていました。

研修委員会はバス研修の企画や運営をメインに活動していますが、秋に行われる文化祭の販売でも大きく関わっています。

PTA はお菓子と飲料、近年はおにぎりも販売しています。校章の焼き印が入ったどら焼き、学校のマスコットキャラクターのイチニヤンの絵が入ったプリントクッキーや瓦せんべいを中心に販売をしています。



また昇降口付近で買った物をそのまま席で食べることでできるイトインコーナーも作り、「PTA's 茶屋」と称して運営しています。

研修委員会は PTA 全体を盛り上げるムードメーカーだと思えるのでこれからも PTA 活動を盛り上げていきます。

・広報委員会

広報委員は PTA の活動の報告と学校行事の生徒たちの様子を掲載した PTA 会報を年に 2 回発行しています。年に 2 回なので一枚一枚精一杯の思いを記事にしています。



生徒、保護者、先生方をつなぐ広報誌になるよう、少しでも学校の雰囲気、行事の様子が分かるように心がけています。また、レイアウトなどを気にしながら目を引くような紙面になるよう、委員長中心に工夫を凝らしています。

主な年間行事	
4 月	入学式
5 月	球技大会 PTA 総会
9 月	文化祭 PTA バス研修旅行
10 月	体育祭
11 月	修学旅行 学年懇談会
12 月	通学列車パトロール
3 月	卒業式

上記の行事の他にも年に 6 回定例の理事会があります。そこで企画の内容検討、構成の確認、校正などを和気藹々で行っています。



広報に必要な写真は委員で手分けをして写真を撮ります。行事の時は特に力を入れて写真を撮って回り、生徒たちの楽しむ姿、真剣に取り組む姿など行事の様子が分かるよう臨場感に写真撮影を心がけています。



中学までの義務教育の頃とは違い、子どもたちも大きく成長し自立心が芽生える頃です。子供との関わり方も悩んでいる保護者の方もいるのではないのでしょうか。広報誌は子どもたちとの会話のきっかけになるお手伝いになるようにという思いも込めています。

PTA 理事は「広報誌」という一つのコンテンツと一緒に盛り上げていこうという思いによって学年の違う親同士でも関わりを持つことが可能です。任期が 3 年間だからこそ交流が深まり、保護者同士の情報交換ができ、コミュニケーションを図ることができます。

同学年はもちろんのこと、学年を超えた保護者間のつながりもできました。また、学校では普段見ることのできない子どもたちの様子も見るので新しい発見や学ぶことが多く、楽しく活動しています。これからも子供たちと保護者の架け橋となれるよう一致団結で頑張ります。

・指導委員会

指導委員は年3回の通学経路のパトロールと地域の方々とのパトロール、計4回のパトロールを実施しています。市川少年補導員の方々と協力し、子どもたちの通学路を見回ります。



昨年度の9月、学校から最寄り駅への通学路パトロールを行いました。

学校周辺の道路はトラックなどの大型車等、交通量が多い割に信号や横断歩道が無い場所があり、車同士や対人事故が多い地域です。

また台風の影響で倒壊した小屋や暗い細い道など、危険な箇所がいくつかあり子供たちに十分気をつけて欲しいと思いました。

10月には地域の方々と一緒に3ルートに別れてパトロールしました。通学するのに危険な箇所や気をつけるべき場所など近隣の方々ならではの目線で教えて頂きました。

横断歩道は設置されていてもなかなか車が止まってくれない箇所、歩道も無くバスも通行するため歩行するのに危険な箇所などを具体的に教えていただきました。また学校の目の前の大きな通りから一本入ると街灯が少なく、日が沈むと暗い箇所

もあり、近隣には小学校、中学校もあるため通学路としては不安に感じました。ですが横断歩道や信号が無い道に信号機設置の働きかけをして頂いたと聞き市南生が地域の方々にも気にかけて頂けているとわかり、PTAとして子供たちのために私たちにもできることをしたいと思いました。



11月・12月にかけては電車の列車内パトロールを行います。昨年度電車内では特に問題はなく、子供たちのマナーも悪くありませんでした。男子生徒が少しふざけ合う場面もありましたが、迷惑がかかるレベルではなく、周囲に配慮ができていたので安心して見ている事が出来ました。

ただ、女子生徒のスカート丈の短さが気になりました。



今年度のパトロールを通して引き続き危ない場所や気をつけるべき事を子供たちに伝えていく事の大切さ、地域の方々との情報交換など協力して子供たちを守る大切さを感じました。

結びとして、SNSの普及により、いろいろなことが便利になった今、子供たちを取り巻く環境も、一昔前とは大きく変化してきていると思います。

便利であるが故に危険と隣り合わせ、紙一重の状況にあるかも知れない子どもたちを守っていくには学校、地域、そして保護者が協力し、連携していく事が重要だと思います。

そのためにはまずより多くの保護者のPTA活動への参加が不可欠です。私たち市川南高校PTAでは研修・広報・指導の各委員が自分たちで出来ることを、出来るときに、出来るひとがやる。というのを信条にしています。

あくまでPTA活動を楽しみながら「(P)パッと(T)楽しく(A)明るく」というのをモットーに、活動を通して子どもたちが安心して安全に学べる環境を作っていけるよう、保護者一同、力を合わせて見守っていきたいと思います。